

# いじめのない学校に



志方中では、いじめのない学校を目指してさまざまな取り組みを進めています。学校目標にもあるように、人の心がわかるあたたかい人に成長してもらえよう

に毎日、メッセージを発信していきたいと思っています。

夏休みには職員みんなでいじめをなくすためにできることを考えました。

いじめは、人の尊厳を傷つける行為であり、絶対に許されません。学校で暮らすすべての人が、いじめのない学校で生活したいと思っています。にもか

かわらず、いじめは起こってしまいます。大切な事は、いつどこでも起こりう



るものであることを知って、常に自己の言動などを振り返ることができるかどうかです。気持ちにゆとりがない時、つい調子に乗って



などそんな時に人を傷つける言動につながります。そういう自分をきちんと自制できるということが成長です。「言葉遣いは心遣い」です。だれしも人を傷つける人になりたくはありません。相手のことに思いをはせることができる素敵な大人に成長してください。



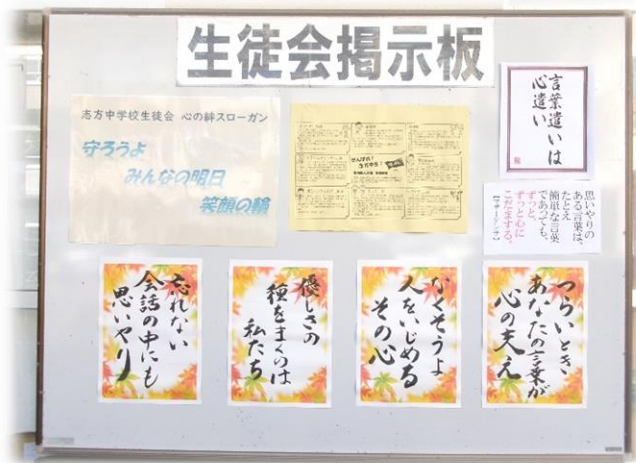
地域の方も「いじめなどしていませんか」といつも話していただきます。志方町のすべての大人の願いです。学校ではいじめについて考える



授業も行いました。以下はその感想です。

○いじめはダメだとみんな知っているが、その判断は時に鈍ってくるのだと思います。いつも自分の言動を振り返れる人になりたいです。

○自分にとっては些細な一言でも相手がどう思うかしっかりと考えることだと思った。しっかりと考え、自己中心的な人にならないようにしたい。





○一人一人が相手の気持ちを考えて、意識して行動できることが大切だと思う。いじめを許さない雰囲気づくりが大切で、自分から作っていききたい。

○みんなが安心して生活できるように

にするためにも、いじめを許さないように自ら行動していききたい。

○逃げないこと、だめだと思うことに遭遇しても目を背けないことが大切だと思った。

○相手だけでなく、その家族のことも考えられるようになりたいと思う。

○たとえ喧嘩してしまっても、陰口をいうような人にはならない。

○いじめの傷は一生残るものだ。だからこそ自分を振り返り、いつでも相手の人も大切に思えるように生活したい。仲良から大丈夫。冗談だから大丈夫などと考える自分に注意して周りの人も大切にしていきたい。

みんな、しっかりと考えてくれました。志方中で生活するすべての人が嫌な思いをすることがないように、みんなで学校を盛り上げていきましょう。

